

クラックカットシール施工要領書

平成27年3月



エムケービルド株式会社

適応条件

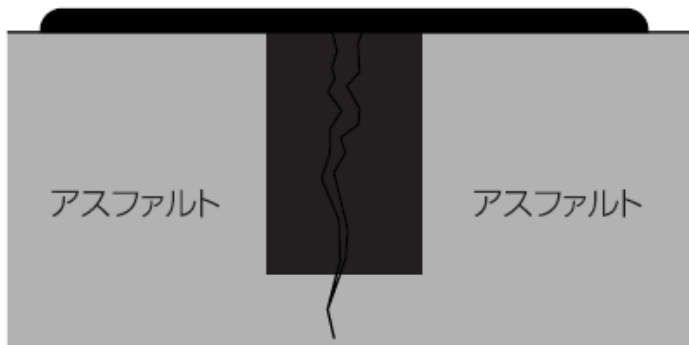
本施工要領書はクラックカットシーリングに関して適用します。

項目	適用基準	
用途	アスファルト舗装・コンクリート舗装のひび割れ	
クラック幅	3mm以上～20mmまで	
路面温度(最高温度) 80℃以下	カット幅 1.2cm	カット深さ 1.8cm～2.5cm
路面温度(最高温度) 86℃以下	カット幅 1.8cm	カット深さ 1.8cm
路面温度(最高温度) 92℃以下	カット幅 2.8cm	カット深さ 1.2cm
路面温度(最高温度) 98℃以下	カット幅 3.7cm	カット深さ 1.2cm

路面温度による製品選択表

アスファルト舗装	路面温度(最低温度)	路面温度(最高温度)	材料名
アスファルト舗装	-16℃	76℃	パーキングロットシーラント#1
アスファルト舗装	-22℃	58℃	ポリフレックス#1
アスファルト舗装	-28℃	64℃	ロードセイバー#221
コンクリート舗装	-28℃	64℃	ロードセイバー#221

工法標準タイプ



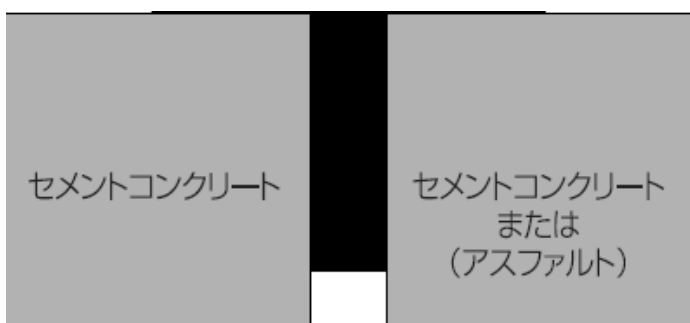
ひび割れ部に道路カッターで幅12mm、深さ19mmの溝を切り、その溝にシーリング材を充填するとともに、溝より幅広く厚み3mm以下、幅50mm以上となるようオーバーバンド状に塗布する。

寒冷地タイプ



ひび割れ部に道路カッターで幅28mm、深さ12mmの溝を切り、シーリング材を溝に充填し、溝より幅広く厚み3mm以下、幅50mm以上となるようオーバーバンド状に塗布する。寒冷地用の補修方法です。

目地シールタイプ



セメントコンクリートのジョイント部や、セメントコンクリートとアスファルト部のジョイント(目地)部にシーリング材を注入する。

品質管理

クラックカットシール用材料

■パーキングロットシーラント#1

試験項目	規格	試験方法	クラフコ社が製造 lot毎に試験実施
コーン針入度(25℃) (1/10mm)	60以下	ASTMD5329	
弾性度 (%)	40%以上	ASTM D5329	
軟化点 (℃)	93℃以上	ASTM D36	
伸度25℃ (cm)	50cm以上	ASTMD113	
折り曲げ性	-29℃で合格	ASTM D3111	
流動性(60℃)(mm)	3mm以下	ASTM D5329	
アスファルト相溶性	適合する	ASTM D5329	
接着引張り性 (%)	500%以上	ASTM D5329	

■ポリフレックス#1

試験項目	規格	試験方法	クラフコ社が製造 lot毎に試験実施
コーン針入度(25℃) (1/10mm)	50~70	ASTMD5329	
弾性度 (%)	40%以上	ASTM D5329	
軟化点 (℃)	88℃以上	ASTM D36	
伸度25℃ (cm)	30cm以上	ASTMD113	
折り曲げ性	-18℃で合格。	ASTM D3111	
流動性(60℃)(mm)	3mm以下	ASTM D5329	
耐熱粘度 (ポイズ)	100ポイズ以下	ASTM D 2669	
アスファルト相溶性	適合する	ASTM D5329	
瀝青質含有量 (%)	60%以上	ASTM D4	
接着引張り性 (%)	500%以上	ASTM D5329	

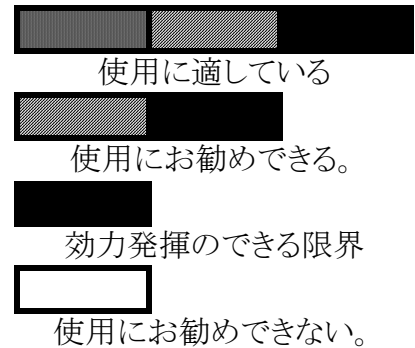
■ロードセイバー#221

試験項目	規格	試験方法	クラフコ社が製造 lot毎に試験実施
コーン針入度(25℃) (1/10mm)	90以下	ASTM D5329	
弾性度 (%)	60%以上	ASTM D5329	
軟化点 (℃)	80℃以上	ASTM D36	
接着性29℃	50%伸び	ASTM D5893	
流動性(60℃)(mm)	3mm以下	ASTM D5329	
アスファルト相溶性	適合する	ASTM D5329	

■パーキングロットシーラント#1

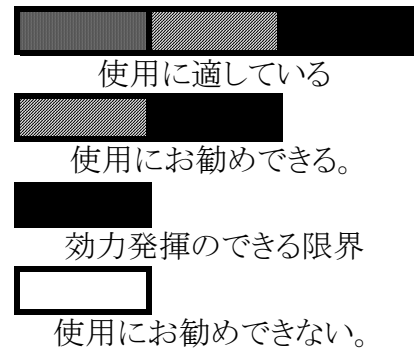
■クラックカットシールの場合 シール材の温度許容範囲

℃	58	64	70	76	82
-4		■	■	■	
-10		■	■	■	
-16					
-22					
-28					
-34					
-40					
-46					



■クラックシールの場合 シール材の温度許容範囲

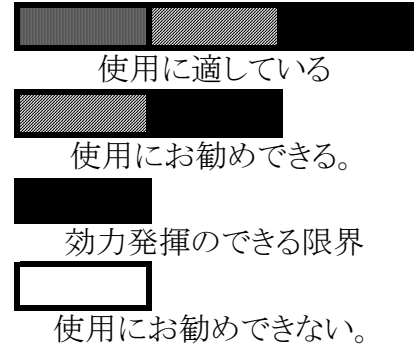
℃	58	64	70	76	82
-4					
-10					
-16	■	■	■		
-22	■	■	■		
-28	■	■	■		
-34					
-40					
-46					



■ポリフレックス#1

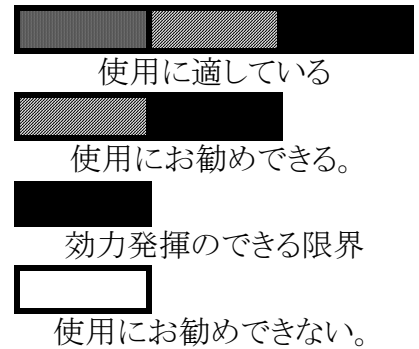
■クラックカットシールの場合 シール材の温度許容範囲

℃	58	64	70	76	82
-4					
-10	■				
-16	■				
-22	■				
-28					
-34					
-40					
-46					



■クラックシールの場合 シール材の温度許容範囲

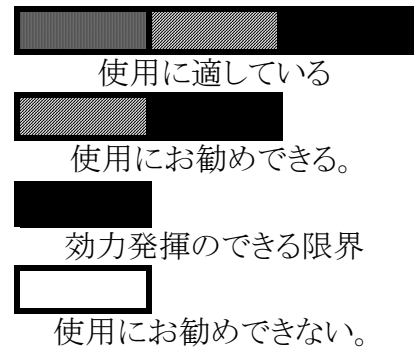
℃	58	64	70	76	82
-4					
-10	■				
-16	■				
-22	■				
-28					
-34					
-40					
-46					



■ロードセイバー#221

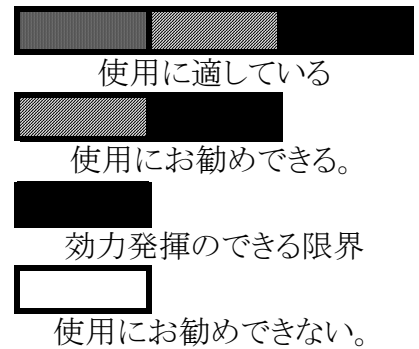
■クラックカットシールの場合 シール材の温度許容範囲

℃	58	64	70	76	82
-4					
-10					
-16	■	■			
-22	■	■			
-28	■	■			
-34					
-40					
-46					



■クラックシールの場合 シール材の温度許容範囲

℃	58	64	70	76	82
-4					
-10					
-16					
-22	■	■			
-28	■	■			
-34	■	■			
-40					
-46					



施工機械

切削機



ビリーゴード



溶解釜



スーパーショット60



EZマルチ500型

2. 工具

- *スキージー
- *消火器
- *プロパンガス
- *手袋
- *水

施工方法

準備工	<ul style="list-style-type: none">*交通規制*安全衛生朝礼*使用機械前使用点検*溶解釜に材料(ポリフレックス#1)を入れ溶解開始ポリフレックス#1の溶解温度204℃程度
カッター工	<ul style="list-style-type: none">*ペーパーメントカッターでクラック箇所をカット(切削)する。標準施工は幅1.2cm 深さ1.9cm*幅、高さの確認
清掃工	<ul style="list-style-type: none">*コンプレッサー、手押しスイーパー、ビリーゴートほうき等を使用し、清掃を行う。
乾燥工	<ul style="list-style-type: none">*ガスバーナー等でしっかりと乾燥させる。
シール材注入工	<ul style="list-style-type: none">*加熱されたポリフレックス#1(加熱温度193℃~204℃)を施工面に充填する。*スキージーを使い均します。
粘着防止剤の散布工	<ul style="list-style-type: none">*粘着防止剤(デタック液)を散布することにより早期に交通開放ができます。散布量 m当たり/0.012リットル(120ml)
交通開放	<ul style="list-style-type: none">*ポリフレックス#1の表面温度が40℃以下になれば交通開放してください。*後片付けをおこなう。

施工手順

1



①カッター工

ペーブメントカッターを手前に引きながら、ひび割れに沿って切削をする。(標準タイプ 幅1.2cm 深さ1.9cm)

2



②清掃工

切削したところを、しっかりと砂ほこりまで、掃除機で除去する。(濡れている場合、しっかりと乾燥させる)

3



③切削幅標準タイプ 1.2cm

4



④切削深さ標準タイプ 1.9cm

5



⑤乾燥工

路面をしっかりとバーナーで乾燥させる。

6



⑥シール材注工

加熱されたシール材を施工面に充填する。(加熱溶解温度193℃～204℃)

施工手順

	
<p>⑦敷均し シール材を充填しながらスキージーを使い、敷均します。シール材の幅は約5cm程度です。</p>	<p>⑧交通開放</p>

施工前



施工後

